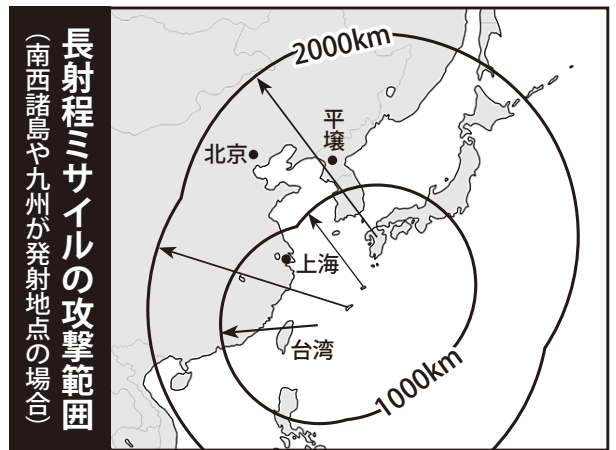
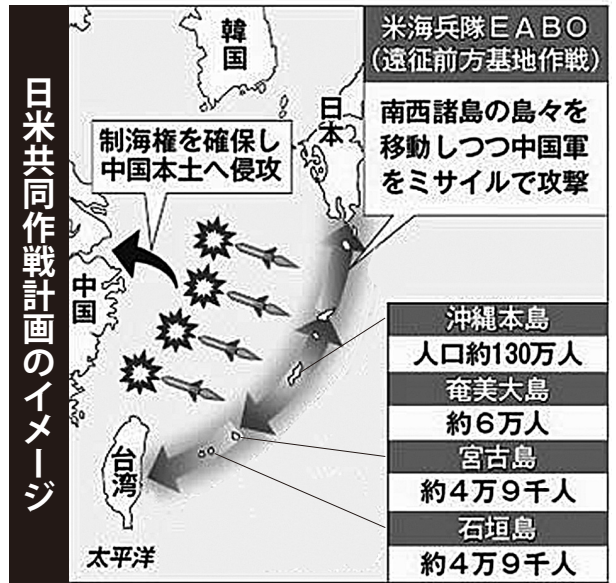


# 沖縄の島々を戦場にするな!

沖縄・南西諸島（種子島～与那国島）のミサイル基地化が激しく進んでいます。自衛隊は射程 1000km から 2000km 超の長射程ミサイルを大量に保有して、米軍とともに中国への侵略戦争を構えようとしています。沖縄の島々を移動しながらミサイル攻撃する EABO（遠征前方基地作戦）訓練がすでに繰り返されています。沖縄の人々は、島々が本当に戦場になってしまうのではないかと強い危機感を抱き、戦争絶対反対の声をあげて闘っています。

日米の政府は「中国や北朝鮮が戦争の危機をつくりだしている」と説明します。しかし真実は逆です。戦争をしようとしているのはアメリカ帝国主義であり日本帝国主義の側なのです。第一次世界大戦も第二次大戦も、戦争の原因は日欧米の帝国主義国家でした。戦後もアメリカは世界中で戦争をしてきました。ウクライナ戦争もその本質は、アメリカによる対ロシア戦争です。

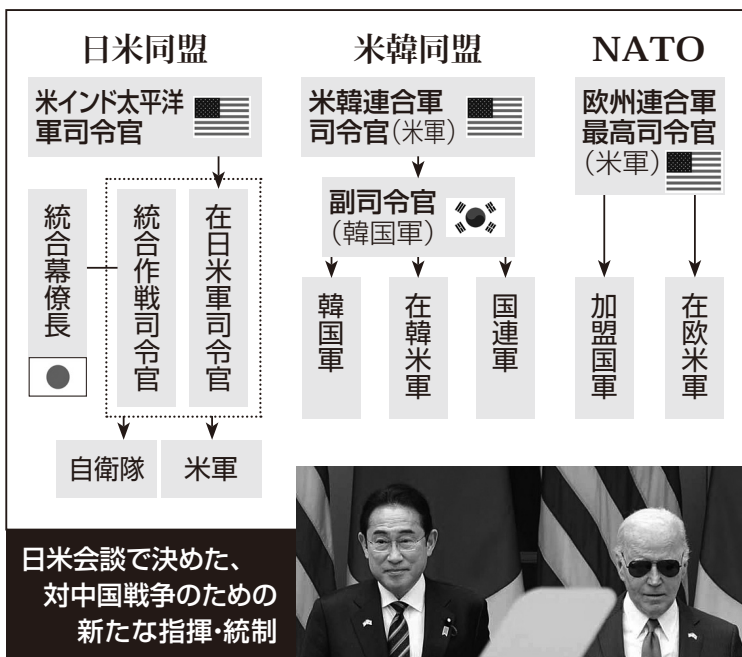
米大統領は「台湾有事」での軍事介入を明言しています。対中国戦争は日本全土も戦場になり、世界戦争に発展してしまいます。絶対に止めるために、沖縄と連帯して立ち上がりましょう!



## 自衛隊が保有する長射程ミサイル(距離は射程)

	<b>12式誘導弾</b>	1000km超	国産で能力向上型開発。陸海空から発射
	<b>トマホーク</b>	1600km	米国製。イラク戦争などで米軍使用
	<b>高速滑空弾</b>	2000km超	国産で能力向上型開発。高速で滑空
	<b>極超音速誘導弾</b>	2000km超	国産で開発。音速の5倍以上で迎撃困難

# 戦争に突進する日米安保 粉碎!



「日米同盟は前例のない高みに到達した」。4月10日の日米会談はこうに言い、米軍と自衛隊が一体になって戦争をするための新たな「指揮統制」を確認しました。自衛隊の「統合作戦司令部」を今年中に創設する法案がすでに国会に出されており、米軍と自衛隊の指揮系統を早急に限りなく一体化させようというのです。それだけでなく、米軍による自衛隊施設や民間空港・港湾の利用も確認されました。戦争を研究する米シンクタンク CSIS は、「中国との戦争で重大な死傷者に直面しても作戦を継続する必要性を（日米政府は）認識せよ」と述べています。米日政府は本気で中国侵略戦争に突入しようとしています。戦争する政府を倒す反乱をまき起こそう!

# 岸田を倒せ!